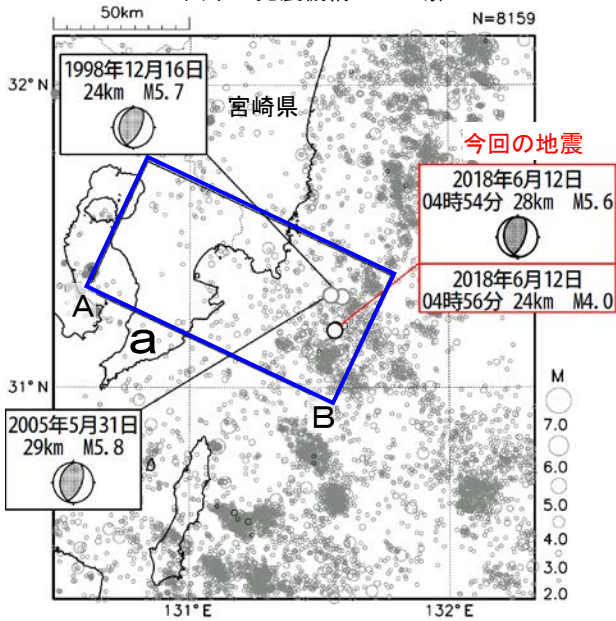
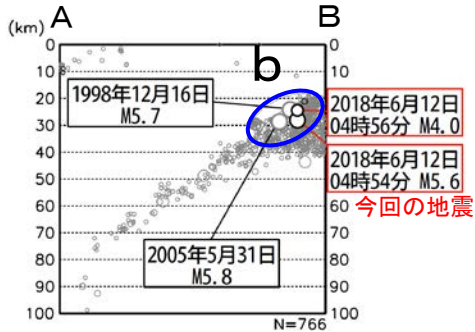


## 6月12日 大隅半島東方沖の地震

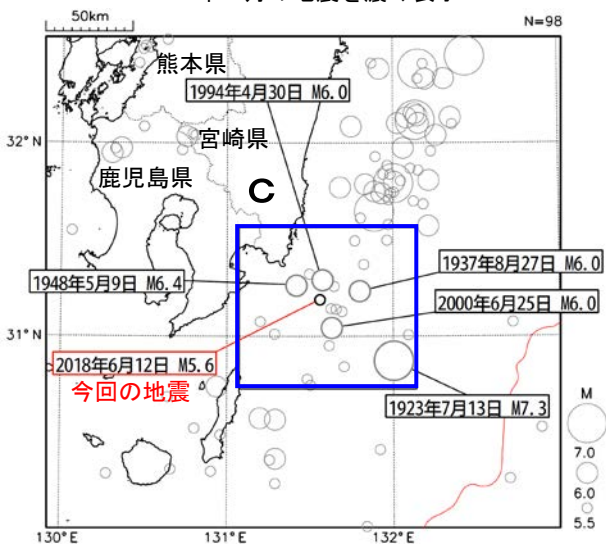
震央分布図  
(1997年10月1日～2018年6月30日、  
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$ )  
2018年6月の地震を濃く表示  
図中の発震機構はCMT解



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図  
(1923年1月1日～2018年6月30日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.5$ )  
2018年6月の地震を濃く表示

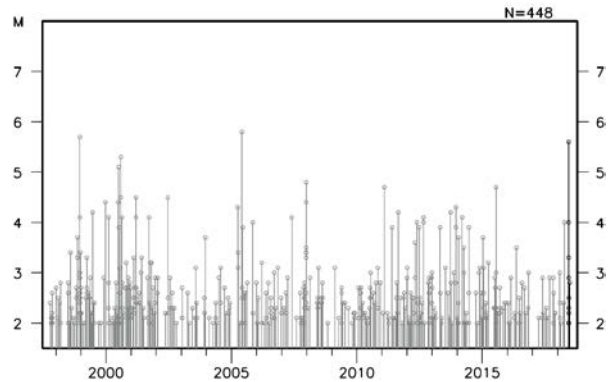


6月12日04時54分に大隅半島東方沖の深さ28kmでM5.6の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。また、同日04時56分にほぼ同じ場所でM4.0の地震(最大震度2)が発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)ではM5.0以上の地震が時々発生している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)ではM6.0以上の地震が5回発生している。1923年7月13日には、M7.3の地震により鹿児島県の中種子村(当時)で住家小破27棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図



領域 c 内の M-T 図

